令和5年度 決算の状況をお知らせします

市は、皆さんから納めていただいた市民税、固定資産税などの税金や国・北海道から受ける交付金などを基に予算を組み立て、皆さんが安心して暮らすことのできる住みよいまちづくりに取り組んでいます。今月は、市の予算がどのように使われたのか、令和５年度の決算状況をお知らせします。

一　般　会　計

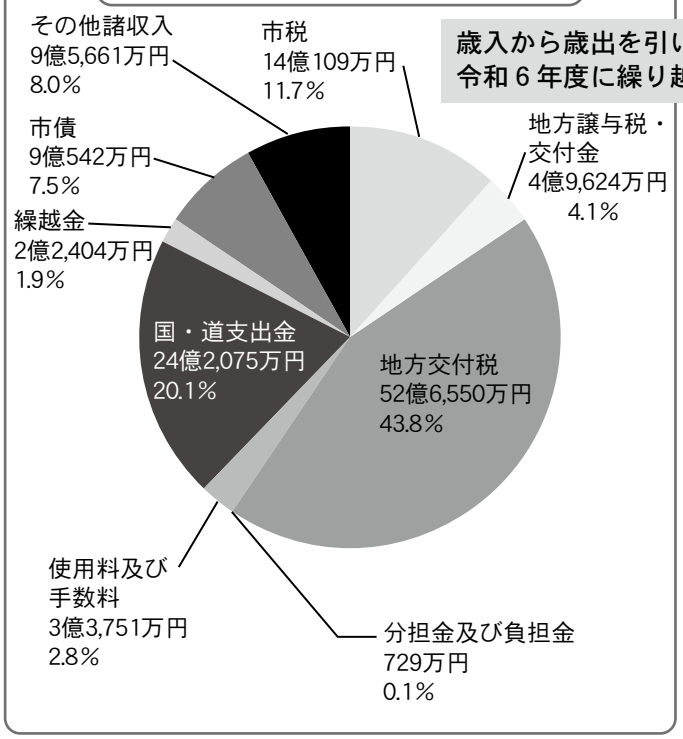
福祉や教育など、市の基本的な事業の会計です。

歳入と歳出の差引額１億1,077万円から令和６年度への繰越明許費繰越金6,470万円と前年度の実質収支額２億2,404万円を差引いた結果、１億7,797万円の赤字となりました。

歳入合計

120億1,445万円

対前年度比５億8,818万円（4.7％）減

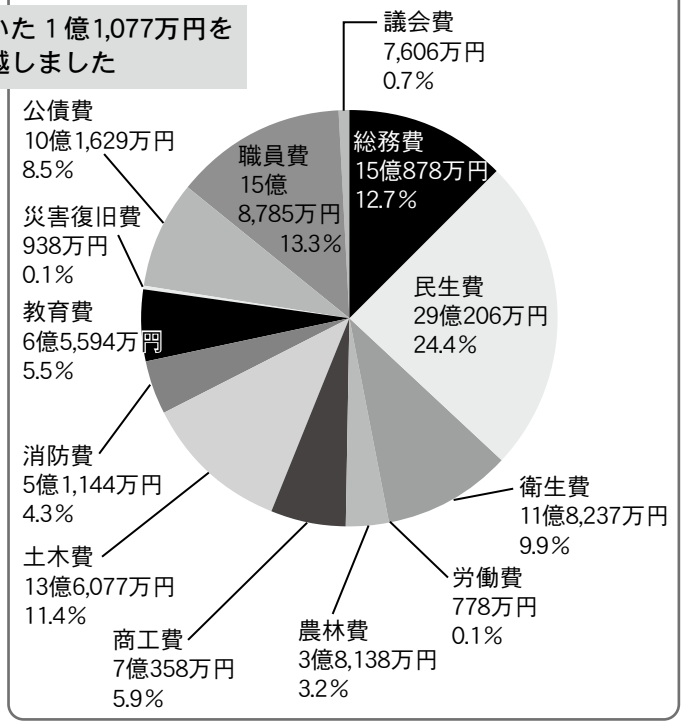


歳入から歳出を引いた１億1,077万円を令和６年度に繰り越しました

歳出合計

119億368万円

対前年度比４億7,491万円（3.8％）減



◆市民１人あたりの歳入と歳出◆

※令和６年３月31日現在の人口（住民基本台帳）で割って算出（11,404人）

歳　入		
市税	皆さんが納めた税金	122,859円
地方譲与税・交付金	消費税の一部として交付されたお金や自動車税環境性能割などから分配されたお金など	43,514円
地方交付税	一定のサービス水準を確保するため、人口や税収などに応じて国から配分されるお金	461,724円
分担金及び負担金	保育料などの特定の利益を受けるかたが負担されたお金	639円
使用料及び手数料	施設の使用料や住民票の手数料など	29,596円
国・道支出金	市の事業に対し、国や道から交付されたお金	212,272円
繰越金	前年度から繰り越されたお金	19,646円
市債	国や金融機関から借り入れたお金	79,395円
その他諸収入	寄付金や財産収入など	83,884円
合　計		1,053,529円

歳　出		
議会費	議会運営にかかる費用	6,670円
総務費	地域振興や庁舎管理、情報化推進などの費用	132,303円
民生費	高齢者、障がい者、児童などの福祉の費用	254,477円
衛生費	ごみ処理、保健衛生などの費用	103,680円
労働費	雇用や労働環境向上などに対する費用	682円
農林費	農業振興や林業振興などの費用	33,443円
商工費	商工業振興や観光などの費用	61,696円
土木費	道路、河川、公園などの費用	119,324円
消防費	消防、救急活動の費用	44,847円
教育費	小中学校、生涯学習振興などの費用	57,518円
災害復旧費	災害が発生したときの復旧費用	823円
公債費	国や金融機関などから借り入れたお金の返済費用	89,117円
職員費	市職員の給与や退職金	139,236円
合　計		1,043,816円

特　別　会　計

一般会計とは別に、独立して経理を行う会計です。

会　計　名	予算額	歳　入	歳　出	歳入歳出差引額
奨学資金	3,401万円	3,400万円	3,400万円	0万円
国民健康保険	19億2,302万円	17億9,059万円	17億6,787万円	2,272万円
下水道事業	4億8,000万円	4億4,505万円	4億4,505万円	0万円
介護保険事業	17億6,720万円	17億2,721万円	16億5,327万円	7,394万円
後期高齢者医療	2億7,943万円	2億7,758万円	2億7,746万円	12万円
合　計	44億8,366万円	42億7,443万円	41億7,765万円	9,678万円

企　業　会　計

民間企業のように、利用料金などの収益で運営する会計です。

会計区分	収支区分	収　入	支　出	収支差引額
病　院　事　業	収益的収支	19億　64万円	18億8,544万円	1,520万円
	資本的収支	6,800万円	1億2,146万円	▲ 5,346万円
水　道　事　業	収益的収支	4億1,129万円	4億2,167万円	▲ 1,038万円
	資本的収支	2億5,521万円	4億　959万円	▲ 1億5,438万円

市の財産

市が市民の皆さんに対して、さまざまなサービスを提供するために持っている土地や建物、そのほかの財産は次のとおりです。

○基金

区　分		金　額
一般会計	財政調整基金	7億9,460万円
	減債基金	4億8,784万円
	地域・産業振興基金	3億6,196万円
	公共施設等整備管理基金	271万円
	教育・文化・スポーツ振興基金	3,045万円
	森林環境整備基金	4,024万円
	ふるさと応援基金	7,429万円
	庁舎建設基金	5億3,315万円
	学校基金	269万円
特別会計	奨学基金	1万円
	国民健康保険基金	1億2,546万円
	介護保険基金	4億7,014万円
合　計		29億2,354万円

○土地・建物

区　分		面　積
土地	公の施設	233万9,316㎡
	山林	555万9,698㎡
	その他	308万9,212㎡
	計	1,098万8,226㎡
建　物		23万1,510㎡

○有価証券・出資による権利

区　分	金　額
有価証券（株券）	4,207万円
出資金・出えん金	6,567万円

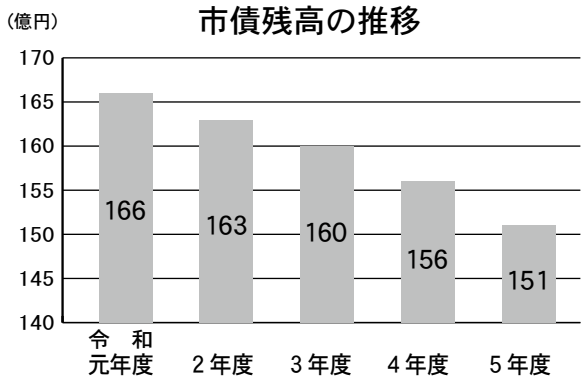
○北海道市町村備荒資金組合納付金

区　分	金　額
普通納付金	1億1,143万円
超過納付金	8億8,761万円
合　計	9億9,904万円

市　　債

市債とは、市の借金のことです。一般、特別、企業会計の市債残高の合計は、次のグラフのとおりです。

区　分	令和５年度末 現　在　高	令和５年度 元利償還金
一般会計	109億8,731万円	10億1,507万円
下水道事業特別会計	17億2,786万円	3億2,591万円
病院事業会計	4億1,304万円	8,781万円
水道事業会計	19億6,115万円	2億2,807万円
合　計	150億8,936万円	16億5,686万円



令和５年度決算に基づく

健全化判断比率と資金不足比率を公表します

平成19年6月に公布された「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」（財政健全化法）により、毎年度、健全化判断比率と資金不足比率を算定し、公表することが義務づけられています。

令和５年度決算に基づいて算定された本市の健全化判断比率は、財政再建に取り組まなければならない基準（早期健全化基準）をいずれも下回っています。

●令和５年度決算に基づく健全化判断比率（単位：％）

区　分	実質赤字比　率	連結実質赤字比率	実質公債費比　率	将来負担比　率
公表数値	—	—	5.7 (5.3)	65.4 (67.8)
早期健全化基　準	14.34 (14.36)	19.34 (19.36)	25.0 (25.0)	350.0 (350.0)
財政再生基　準	20.00 (20.00)	30.00 (30.00)	35.0 (35.0)	

※１　実質赤字比率または連結実質赤字比率がない場合は、「—」と記載しています。
※２（　）内は令和４年度決算に基づく数値です。

１．実質赤字比率　……　標準的な収入に対する赤字額　　赤字なし

一般会計等の赤字が標準的な収入に占める割合を示す指標です。
家計簿に例えると、世帯主の収入に対して赤字額が占める割合になります。

２．連結実質赤字比率　……　標準的な収入に対する各会計を連結した赤字額　　赤字なし

全ての会計等の赤字が標準的な収入に占める割合を示す指標です。
家計簿に例えると、世帯主の収入の合計に対して家族全員の赤字額が占める割合になります。

３．実質公債費比率　……　標準的な収入に対する借金返済の負担割合　　健　全

標準的な収入における地方債（国や銀行などからの借入金）の返済額などが占める割合を示した指標です。
家計簿に例えると、住宅ローンなどの返済額が収入に占める割合になります。

４．将来負担比率　……　標準的な収入に対する将来の実質的な債務などの負担割合　　健　全

標準的な収入における今後負担することになっている負債額などが占める割合を示した指標です。
家計簿に例えると、住宅ローンなどの残高が現在の収入に占める割合になります。

●令和５年度決算に基づく資金不足比率　（単位：％）

企業会計・特別会計の名称	資金不足比率	経営健全化基準
水道事業会計	— (—)	20.0 (20.0)
病院事業会計	— (—)	20.0 (20.0)
下水道事業特別会計	— (—)	20.0 (20.0)

※1　資金不足比率がない場合は、「—」と記載しています。
※2（　）内は令和４年度決算に基づく数値です。

資金不足比率　……　公営企業会計の事業規模に対する赤字額　　全ての公営企業会計において資金不足比率なし

毎年の事業収入に対して現金がどのくらい不足するのかを示した指標です。
家計簿に例えると、世帯主以外の家族一人一人の収入に対する赤字額の割合です。

都市計画税の使途状況をお知らせします

■都市計画税の使途内訳

区分	金額（万円）	構成比（％）
公園整備事業	3,077	6.7
下水道整備事業	9,187	20.2
地方債償還額（※）	33,272	73.1
合計	45,536	100.0

※街路、公園、下水道事業のために借り入れた地方債償還額

■都市計画事業等の財源内訳

区分	金額（万円）	構成比（％）
都市計画税	5,588	12.3
一般財源等	28,534	62.6
その他特定財源	11,414	25.1
合計	45,536	100.0

※その他特定財源とは、地方債、使用料等が含まれます。

都市計画税は、街路、公園、下水道整備などの都市計画事業等の費用に充てるため課税される目的税で、都市計画区域のうち、用途地域内に土地や家屋を所有しているかたに、その資産の価格に応じて納めていただく税金です。

令和５年度の都市計画税（5,588万円）は、左記のとおり都市計画事業等（4億5,536万円）の財源として活用しました。

令和５年度 主な事業の決算額

事業名	決算額	事業の成果の内容
子どもセンター整備事業	3,807万円	公共施設の脱炭素化を推進するため、子どもセンター照明器具ＬＥＤ化工事を実施しました。
健民センター整備事業	1億2,584万円	健民センター施設の環境整備を図るため、スターライトホテル屋上防水改修工事や屋外非常階段の更新を実施しました。
道の駅整備事業	4,598万円	道の駅施設の環境整備を図るため、物産センター屋根塗装工事及び屋上防水工事やインクルーシブ遊具の設置を実施しました。
道路維持改良事業	1億7,136万円	舗装の改良や段差の解消、高齢者や障がい者に配慮した歩車道の確保のため、西4丁目3線ほか11路線の維持改良工事及び市道街路灯のＬＥＤ化を実施しました。
橋りょう整備事業	3,462万円	快適・安全な橋りょう環境の整備のため、見返橋補修工事等のほか17橋の橋りょう点検を実施しました。
除雪機械整備事業	2,508万円	冬期間における交通を確保し、安全・安心な暮らしを提供するため、除雪ロータリの更新を実施しました。
公園整備事業	3,059万円	公共施設の脱炭素化を推進するため、公園灯ＬＥＤ化工事を実施しました。また、利用環境向上を図るため、旭ケ丘公園等トイレ改修工事等も実施しました。
市営住宅維持管理事業	2億2,114万円	公営住宅等長寿命化計画に基づき、将来に向けた地区管理戸数の縮減化を図るため、ことぶき団地除却工事（4棟32戸）等を実施しました。
公営住宅建替事業	1億　712万円	住宅環境の充実を図るため、ことぶき団地建替工事（1棟12戸）及びことぶき団地建替工事実施設計業務委託等を実施しました。
消防団用車両購入事業	2,937万円	消防団の機能強化を図るため、芦別消防第五分団の消防ポンプ自動車の更新を実施しました。
スクールバス購入事業	2,492万円	中学校の統合に伴い、通学手段を確保するため、新たにスクールバス路線の新設及び老朽化したスクールバスの更新を実施しました。
中学校施設整備事業	2,071万円	中学校の統合に伴い、学校施設の環境改善を図るため、芦別中学校3線校舎トイレ内装改修工事等を実施しました。
総合運動公園施設改修事業	2,959万円	適切な施設の管理運営を図るため、市民球場ラバーフェンス改修工事を実施しました。
市民会館・青年センター整備事業	4,950万円	適切な施設の管理運営を図るため、市民会館大ホール舞台照明設備の更新を実施しました。
給食センター整備事業	4,158万円	安心・安全な学校給食の提供を図るため、食器消毒保管機更新のほか、電気設備及び内部改修工事を実施しました。

令和５年度寄付金の状況を公表します

市には毎年、個人、企業・団体から多大なるご厚意のもと、多くの寄付金が寄せられています。この貴重な寄付金は、市のまちづくりの大きな支えとして、有効に活用させていただいており、改めて感謝申し上げます。今後とも、皆様と「ふるさと芦別」の縁を大切に育んでまいりたいと考えておりますので、芦別の発展に温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

■令和５年度寄付件数・金額

区分	件数	金額
個　　人	14,489件	213,275,050円
企業・団体	21件	11,979,734円
合　　計	14,510件	225,254,784円

〇寄付金の活用状況

令和５年度にいただいた寄付金	
区分	活用事業
①芦別130周年市制施行70周年記念事業費寄附金	芦別130周年・市制施行70周年記念事業全般
②交通安全対策事業費寄付金	交通安全対策に係る購入費（自転車用ヘルメット等）
③通学自動車整備事業費寄付金	スクールバス購入費
④図書館整備費寄付金	図書購入費
⑤その他寄付金	市立芦別病院医療機器購入費など
⑥ふるさと応援寄付金	
健康と命を守る事業	総合運動公園維持管理費、公園管理費、生活習慣病予防対策事業など
子ども、子育て支援事業	乳幼児医療助成事業、子どもセンター管理運営費、学校給食事業など
活気あるまちづくり事業	商工業振興・育成事業、農業振興対策事業、移住・定住促進事業など
地域の魅力向上事業	道の駅等管理運営費、ベースボールサマーキャンプ開催事業など
「星の降る里あしべつ」を応援する事業	公園管理費、高等教育推進事業、母子保健事業など
ふるさと納税促進に関する事業	ふるさと納税感謝特典報償費、ふるさと納税ポータルサイト利用手数料など
令和5年度にいただいた寄付金のうち、1億4,614万5,050円を上記事業に活用させていただいたほか、7,910万9,734円を基金として積み立て、後年度の事業に有効活用させていただくこととしました。	

令和４年度までにいただいた寄付金	
区分	活用事業
①地域産業振興基金	総合福祉センター管理運営費、保健福祉施設管理運営費、公園管理運営費など
②公共施設等整備管理基金	図書館管理運営費、給食センター管理運営費など
③教育・文化・スポーツ振興基金	中学校管理運営費、百年記念館管理運営費、市民会館青年センター管理運営費など
④森林環境整備基金	森林環境整備事業
⑤芦別130周年・市制施行70周年記念事業基金	芦別130周年・市制施行70周年記念事業全般
⑥ふるさと応援基金	
健康と命を守る事業	感染症予防対策事業、生活習慣病予防対策事業など
子ども、子育て支援事業	小学校管理費、中学校管理費など
活気あるまちづくり事業	移住・定住促進事業、農業振興対策事業など
地域の魅力向上事業	観光振興推進事業、道の駅等管理運営費など
「星の降る里あしべつ」を応援する事業	総合運動公園管理費、学校給食事業など
令和4年度までにいただいた寄付金のうち各基金に積み立てをしていたものを、令和5年度に実施した上記事業に2億4,053万9,543円を活用させていただきました。	

安全安心なまちづくりの日及び全国地域安全運動の実施
～みんなで築こう、安全で安心な大地～

〇安全安心なまちづくりの日／10月11日㈮

〇運動期間／10月11日㈮～20日㈰

ア　安全安心なまちづくりの日

・10月11日は、国民の防犯に対する意識と理解を深めることを通じて犯罪に強い社会の実現を目指す「安全安心なまちづくりの日」です。この機会に今一度、誰もが安全で安心して暮らすことのできる社会を実現するため、一人ひとりができる範囲の地域安全活動に取り組みましょう。

イ　子どもと女性の犯罪被害防止

・地域の見守りの目を増やすことは、犯罪の未然防止や防犯力の向上にもつながることが期待できます。ウォーキングや買物、犬の散歩等の日常生活の中でできる「ながら見守り」と、不審者等発見時の早期通報にご協力願います。

・危険な事態を予測、回避する能力を身につけるため、見通しが悪いなど危険な箇所の把握や、不審者に遭遇した際の対処方法を、日頃から子どもと話し合いましょう。

・路上、電車などで危険な場面に遭遇した際には、防犯ブザー等の防犯グッズのほか、痴漢対策機能等が搭載された北海道警察公式防犯アプリ「ほくとポリス」が有効です。

ウ　特殊詐欺、ＳＮＳ型投資・ロマンス詐欺の被害防止

・ＳＮＳ上で著名人になりすました者等と交信を重ね、投資などの名目でお金をだまし取る手口の詐欺被害が急増しており、被害が高額となる傾向があります。

・ＳＮＳ、電話、メールなどで投資等のもうけ話や、トラブルに巻き込まれた話をされたときは、詐欺を疑い、すぐに相手との連絡を絶ってご家族や警察（警察相談専用ダイヤル＃9110）にご相談ください。

・北海道警察公式防犯アプリ「ほくとポリス」では、特殊詐欺被害やその予兆と考えられる事案の発生情報を配信しています。被害を防ぐためには、詐欺の手口を知ることがとても大切です。この機会にぜひインストールしてご活用ください。

・ＳＮＳには「闇バイト」「即金」こんな言葉があふれていますが、これはアルバイトの募集ではなく、犯罪実行者の募集です。犯罪に加担することになり、逮捕された人が多くいます。これらの犯罪で被害を受ける人がいます。絶対に応募してはいけません。

・特殊詐欺の被害防止のためには、犯人と直接電話で話さないことが有効な被害防止対策となります。

・固定電話を常に留守番電話に設定し、相手を確認してから電話にでることにするほか、迷惑電話防止機能付の機器を積極的に活用しましょう。

エ　自転車盗難、万引きの被害防止

・自転車の盗難被害が全道的に増加しています。盗難被害を防ぐためには錠を掛けることが大切ですが、一つでは足りません。短時間の駐輪であっても、複数の錠をかける「ツーロック」で盗難被害をブロックしましょう。

・自転車防犯登録は、盗難被害の未然防止や、盗難自転車の早期返還に大きく役立ちます。一度登録すれば20年間有効です。自転車を利用する際は忘れずに登録してください。

・万引きは窃盗罪（10年以下の懲役または50万円以下の罰金）であり、決して軽い罪ではありません。もし、捕まるのを免れようと従業員等に暴力を振るったら、事後強盗罪（５年以上の有期懲役）になりますし、さらに怪我をさせた場合、強盗致傷罪（無期または６年以上の懲役）となります。

・万引きによるお店の被害は甚大です。「万引きはしない、させない、許さない」をみんなで徹底しましょう。

運動期間中は、関係団体等と連携し、市民の皆さまの自主防犯意識の高揚と地域安全運動の活性化を図り、安全で安心な『星の降る里あしべつ』のために活動を行いますので、皆様のご理解とご協力をお願いします。

●詳細／芦別警察署☎22 - 0110